

4月3日

2019年  
(平成31年)

水曜日

第19296号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

### 桂スチール

# 岡山県備前市に新工場

## ビルトH形鋼を効率生産

ビルトH形鋼(BH)加工最大手の桂スチール(本社・兵庫県姫路市、社長・三木桂吾氏)

は、生産効率化などを狙いに年内をめぐりに岡山県備前市に新工場を建設・稼働する方針だ。新工場はBH生産拠点および鋼材物流拠点とする考えで、投資額は12億〜13億円を見込む。敷地面積は約6万平方メートル、建屋面積は半分程度となる予定。

工場名は「友延工場」。導入する設備など詳細は検討中だが、三木社長は「今月末くらいに具体策が固まると、レーザ加工機や溶接機などを導入することになるだろう。年内には稼働できるまでに努力していく」と話している。

同社は岡山県中心に計6工場があり、足元の月産量は7千ト。母材厚板の溶断からBHの一次・二次加工まで自社で一貫して手掛けるのが強みの一つとなっている。

2016年に姫路工

場、17年には岡山第2工場に新工場棟を建設するなど、生産体制の強化を進めたほか、合理化・省力化に対しても積極的な設備投資を続け、直近では溶接機を更新・新設した。新設備は溶接母材を反転する工程を自動化するなどの特徴があり、生産性の高さも同社の強みとなっている。

新工場建設について、三木社長は「増産を

目指すものではない。働き方改革を進める上で生産効率を高めた

いと、新工場近隣にある同社工場との連携を深め、同社全体でよ

り生産性が向上できるように取り組んでいく。